

# 第 6 回

## 共同利用館後継施設検討部会

### 議 事 録

日 時：2024年3月18日(月)午後6時開会  
場 所：札幌市役所 地下1階 5号会議室

## 1. 開 会

本田部会長 定刻となりましたので、第6回共同利用館後継施設検討部会を開会します。本日は、伊藤委員が欠席ということで、4名の委員にご参加をいただいております。まず、事務局からお願いいたします。

事務局（大屋アイヌ施策課長） アイヌ施策課長の大屋でございます。いつも大変お世話になっております。

本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

皆様のお手元に配付した資料を確認させていただきます。

A4判1枚の次第のほか、第6回共同利用館後継施設検討部会資料というホチキス留めの4ページ物の資料です。

それから、本日も株式会社ドーコンの担当者にオブザーバー参加していただいております。必要に応じて発言させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日の部会では、前回にいただいたご意見を踏まえ、施設のゾーニングの案を修正させていただいたほか、新たに平面プラン案を作成させていただきましたので、これについて幅広くご意見をいただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 議 事

本田部会長 それでは、議事に入ります。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

事務局（松下企画係長） 企画係長の松下でございます。よろしくお願いいたします。それでは資料をご覧ください。

おめくりいただきまして、2ページです。

まず、施設方角の検討についてです。

さきの部会におきましては、豊平区美園の候補地において整備する場合のゾーニング案についてご意見をいただきました。この案においては、アイヌ文化センターのチセが札幌岳の方角に向けて建てられているということから、後継施設も同様に札幌岳の方角に向ける案として皆様にご説明させていただきました。

このことについて、札幌市内で祭事を行う方などにお話を伺ったほうがよいというご意見をいただいております、改めて資料で整理してございます。

資料の左側には札幌周辺の主な自然環境を記載しておりまして、山や川、施設の位置を載せております。

アイヌ文化交流センターのチセについては、左下にございましており、札幌岳の方角で、ほぼ南向きです。

資料の右上にアイヌ民族文化財団のアイヌ生活文化再現マニュアル～建てる～から一部抜粋した文章を掲載しております。下線部のとおり、上手と言われている方角には地域性

があり、東、川上、高い山、海などがあるとされております。

今回、北海道教育委員会の調査報告書等も参照し、各地の事例、チセがどちらの方角を向いているか確認してみました。川の上流向き、または、東向きとされている地域が大半でございました。

札幌におけるチセの方角に関する文献等の記録は北海道博物館などの協力も得ながら探してみましたが、方角が示されたものは確認できませんでした。

市内で祭事を行っている荒木繁さんや結城幸司さんなどにお話をお伺いしたところ、共通していたのは、藻岩山や豊平川などの周囲の自然が重要であるということ、今の時代、厳密に何かの方角にこだわらず、敷地や施設配置も考慮してよいのではないかというご意見でした。その上で、藻岩山などの山々の方角に向けるという考え方が望ましいというご意見をいただいております。豊平川の上流ということで考えたときにも同じ方角となりますので、神窓の方角は南西向きで検討していくのがよいのではないかと考えております。

次に、3ページです。

施設ゾーニングの案です。

さきの部会においては、囲炉裏のある部屋と集会室のつながりについて、参列者が囲炉裏に沿って長く参加できるようにすべきとのご意見をいただいております。また、儀式を行う際の野外への動線として、複数の出入口を設けること、また、調理室はできるだけ広く計画しておくことなどについてご意見をいただいております。そして、調理室に直接搬入できるような配置についてもご意見をいただいたところでございます。これらご意見に基づきまして、ゾーニングを検討の上で平面プランのたたき台を作成しております。

次に、4ページです。

こちらの案は、今後、議論を深めていくためのたたき台として作成したものでございます。この部会を含めて、今後、様々な方からご意見をいただきながら調整していくこととなります。

当然、予算の話にもなりますので、規模についても財政当局との調整が必要になります。また、今後、基本計画や基本設計等で検討していくものもありますので、このプランの内容はあくまでも現時点の検討案ということで、今後変わっていく可能性があることはご承知おきいただければと思います。

プランの具体的な内容について少し補足いたしますと、こちらの案では駐車場は18台分を確保しております。建物への入り口については、前回のゾーニング案でもそうでしたが、公園側、地下鉄駅側に一般入り口、小学校側に通用口を設けております。

点線で記載のある部分ですが、こちらは稼働間仕切りとあって、動かせる壁を使って各部屋を一体で、または、区切って使用できるようにする案になっておりまして、大人数が集まるような催しのときには広く、通常時には区切って使える形にできます。

図面の下側に調理室と囲炉裏の間を配置しておりまして、囲炉裏のあるお部屋は集会室等とつなげて利用することができるようにしております。

資料の右側に集会室と囲炉裏の間をつなげて使うときのイメージ図を記載しております。囲炉裏の間の神窓については、先ほどのご説明のとおり、方角としては南西に向けてプランニングしております。また、さきの部会でご意見をいただきました調理室と囲炉裏の間に近接して敷地裏手への出入口を配置しております。

本日、いろいろな活動における使い勝手の観点からご意見をいただければと考えております。

本田部会長 まず、施設の方角についてです。

神窓を南西に向ける形で検討したいということでしたけれども、この点についてご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

藤岡委員 聞いた方のお名前を教えてください。荒木さんと結城さんだけですか。

事務局（松下企画係長） 貝沢文俊さん、早坂雅賀さんにもお話をお伺いしました。それから、北原先生にも他の地域の事例などについてアドバイスをいただいております。

藤岡委員 男性たちがよいということでしたら、私としては全然問題ないです。

本田部会長 多原委員、いかがですか。

多原委員 神窓の方角ですが、今まで札幌で神事を行っている人たちに聞いたということですね。今のピリカコタンでもチセを配置するときに検討したことがあります。厳密にどちらかということもありますけれども、神窓をどちらに向けるかによって入り口が変わってきます。川の上流と札幌岳ということで話し合われたことを記憶しています。

ですから、ここに書かれているように、厳密に特定するというのではなく、現在では施設配置から検討するのもいいのかなと思いますし、私もこれでいいと思います。

本田部会長 後藤委員、いかがですか。

後藤委員 私も藤岡委員と多原委員と同じような意見になるのですけれども、川の上流、山のある方角が南西方向で一致するということですよ。また、敷地の作りとしても南西に向けたら、温水プール側の建物に向くほうなのかなと思いますので、道路に面して、むやみに後ろを人が通らないと思いますし、札幌市が聞いてくださった方々もそれが望ましいとおっしゃっているのだったら、それでいいと思います。

本田部会長 ありがとうございます。

私も皆さんと同じ意見ですので、これで進めていただければいいかなと思います。

続きまして、ゾーニングや平面プランについてご意見はないでしょうか。

藤岡委員 図面だけでは私も把握できないのですけれども、下の車が入って出ていくスペースがあるということでしょうか。

事務局（松下企画係長） 前回の部会でのご意見を踏まえ、搬入口として使えるよう、調理室のところにスペースを確保しております。また、屋外で何か作業ができたほうがいいというお話もあったかと思います。左下の調理室の隣に前室とありますが、そこから扉を開けて、外に出入りできるようになっています。その前に、土間といいましょうか、夕

イルなのか、コンクリートなのか、それは今後になりますけれども、そういったスペースを設け、作業ができるようにするとともに、調理室付近に持ち込みもできる動線を考えております。

藤岡委員 右側も出ていくスペースですか。

事務局（松下企画係長） そうです。囲炉裏の間の右側に扉があって、屋外と出入りができるようになっております。

藤岡委員 相談室の横にあるところは物品の通路になっているということですか。

事務局（松下企画係長） 通路といいますか、屋外の通路になっていて、道路側と行き来できるようにしている案となっております。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 基本的な動線としては、道路側から入って出られるのですがけれども、調理室近くに車をつけることができます。ですから、基本的には下を通過して出るわけではありません。

藤岡委員 とにかく、私は狭いのが気になっています。2階建案を提案したいと思っているくらいです。この図面を見て思ったのは、せっかくだからつくるのであれば、目いっぱいわがままを聞いてもらえるということであれば、2階建てにしてもらいたいなということですね。また、もし平家でいくのであれば、右の3メートル60センチの道路は部屋に持ち込めるようにしてはと思います。

囲炉裏の前に又サがあると思うのです。又サになるのであれば、前を通ったりせず、前室前の調理室のちょっと前ぐらいまでのスペースでいいのではないかと考えています。

右の道路みたいなものは要らないといいますか、又サ場がどうなるのかが分かりませんが、中庭みたいな感じになっていて、左右から人が入れないような状態になったほうがよくて、右の道路は要らないとこの図面を見て思いました。

とにかく、広くスペースを取り、会議室を一つでも多くしてもらいたいですし、集会場がもっと広くなればいいなと思います。また、エントランスです。このエントランス前の広いスペースにはどのような意味があるのですか。

事務局（松下企画係長） 今のところは、何か具体的に使うということはありません。

藤岡委員 このスペースが何かの部屋になるようになくしてはどうかと思います。何か意味のあるスペースならいいのですがけれども、意味がないのであれば、エントランスはもっとぎりぎりでもいいだろうと思います。

シューズボックスがありますが、ここで靴を脱ぐということですよ。

事務局（松下企画係長） 玄関で靴を脱ぐ運用を想定しております。

入り口の前ですがけれども、すぐ前が歩道になります。ですから、扉を開けてすぐ歩道とはできず、クッションのため若干のスペースが必要になってくるとは思います。そこまで広いスペースが必要というわけではないと考えております。

藤岡委員 すぐというより、8メートルあるのです。エントランスまで2メートル、4メートルで8メートルもあって、結構な距離ですよ。無駄なスペースは削除して、広く

していただきたいです。

本田部会長 多原委員、どうぞ。

多原委員 重なる部分は言いません。

2階建てにして、スペースがもっと広く取れるのであれば別ですけども、平家建てでいくというのであれば、調理室を広く取ってもらうのはいいとして、囲炉裏の間です。囲炉裏を取った後ろのほうに、儀式のとき、囲炉裏の周りに座りますよね。そこはどのくらいの間が空くのですか。

事務局（松下企画係長） 今、囲炉裏のサイズも仮置きでして、どのぐらいの幅かははっきりと設定しておりません。ただ、部屋の幅で5メートル20センチです。

多原委員 この部屋で言うとどのくらいでしょうか。

事務局（松下企画係長） この部屋で言いますと、端から時計くらいまでの大きさでしょうか。

多原委員 ここに囲炉裏があって、周りに座って、また、後ろにも座って、トノトとかつくときは十分なのでしょうか。若干狭いような気がするのです。

本田部会長 座っている間をトノトを持って歩かないといけないということですよ。

多原委員 はい。そのような気がします。

それから、神窓のこんなふうに囲ったところが又サ場なのですよ。そこを車が通っていったり、野外活動スペースというのは何となく違和感があります。

事務局（松下企画係長） 先ほど藤岡委員からの質問を取り違えてしまったのですが、下側のスペースと右側の白い矢印が書いているところは車を通す想定ではありません。あくまでも人が通行できる程度のスペースを想定しています。

多原委員 それで、野外活動スペースの三角印のところは入り口ということですよ。これを違うほうに持っていけないですか。毎回、神窓と又サの間を通っていくという行動をしたことがないのです。

収納室と囲炉裏の間にあるのが入り口ですよ。入り口があるからこの間を通っていくということになると思うのですが、これはあまりなじまないのではないのでしょうか。

事務局（松下企画係長） そうですね。通常時にこちらの出入口を使用することは全く想定しておりません。通常は図面上側の一般の入り口、そして、右側にある通用口を使うことを想定しておりまして、下の二つの出入口については儀式の際の出入り、また、調理室側は調理室に何かを運び入れたいときの動線として、限られたときに使う出入口と想定しております。

多原委員 分かりました。では、野外活動スペースというのは、外での儀式をするための場所ということですね。

また、もう一度言いますが、囲炉裏の間の大きさがどの程度なのか、検討していただければと思います。

事務局（松下企画係長） 今いただいたご意見ですが、例えば、アイヌ文化交流センタ

一のチセくらいの幅だといいというイメージですか。もっと大きいほうがいいですか。

多原委員 大きいほうのチセまでは要らないです。囲炉裏の周りに皆さんが座って、また、後ろにも控えますよね。儀式のとき、その間を通りますから、必要な分は確保したほうがよろしいのかなと思います。

藤岡委員 これだったら北大のイチャルパの感じですよ。すごく狭いです。

本田部会長 やっぱり、先ほどおっしゃったように、車が通るわけではないのでしたら、向かって右側はここまで広くなくていいのではないのでしょうか。儀式のときにここを通るといふこともあるとは思いますが、車が通れるくらいとなりますと、外からの人も自由に入ってくるような気がするのです。むしろ、人1人が通れるくらいの幅でいいのではないかなという気がします。

また、スペースのことでちょっと気になるのはお手洗いです。(1)、(2)とありますが、これは1人、2人ということですか。

事務局(松下企画係長) 男性用と女性用ということですか。

本田部会長 つまり、1人しか使えないというわけではないのですね。

ただ、儀式で人が集まったとき、トイレの数は問題になるかなと思います。今は何人が一度に使用できるものを考えていますか。

オブザーバー(株式会社ドーコン) 2人から3人ですね。

本田部会長 洋式の便器が三つということになりますか。

オブザーバー(株式会社ドーコン) 女性用はそうです。

本田部会長 三つで大丈夫ですか。

藤岡委員 多ければ多いほどいいです。

本田部会長 ただ、トイレにあまり広いスペースを取るくらいなら、そのほかでとるかと思しますので、このくらいで大丈夫ですかね。

それから、囲炉裏の間です。

今、囲炉裏がほぼ正方形になっていますが、実際は長方形です。奥行きが狭過ぎないかと思えます。儀式のときは、先ほどおっしゃられたように、これを取っ払って広くすることはできるのだらうと思うのですが、それにしてもちょっと狭くないかなという気がします。

また、儀式のときの真横の出入口です。

これは儀式をされる男性にこれが本当に必要かどうかをもう一度聞いていただけますか。こちら側の玄関から大丈夫だということでしたら、どう使われるかによって違うかとは思いますが、ここの分、囲炉裏の間を広くすることができるかなと思います。

ほかにいかがでしょうか。

後藤委員 質問させていただきたいのですが、右側の3.6メートルの通路を建物にとりついでです。ぎりぎりまで建物を寄せて建てていいのか、隙間を空けておかなければいけないと決まっているのか、お聞きしたいです。

オブザーバー（株式会社ドーコン） 明確に何メートル開けてくださいという決まりはありませんが、一般住宅もそうですが、敷地境界ぎりぎりまで建物を建てることはできません。そこで一定の距離は空けると理解していただければと思います。

後藤委員 ありがとうございます。

そして、エントランスから入って真ん中に集会室から全部がつながる、一まとまりのスペースになる場所があり、その周りをぐるっと廊下を取り巻いているという理解で大丈夫ですか。

事務局（松下企画係長） そうですね。集会室を図面上の四角二つ分で区切って、会議室もそれぞれ区切ってとなりますと、集会室の周りにぐるっと廊下があるといいますが、そのような使い方ができるようにしてあります。

後藤委員 ありがとうございます。

前回、私は欠席することになってしまい、議事録だけ読ませていただいただけなので、理解が間違っていたら申し訳ないのですけれども、駐車場がこれだけ必要かどうかという話が出ていたと思うのですね。

2階建てというお話も出ていましたけれども、平家でいくのであれば、前回にも出ていたとおり、近隣の駐車場に止めることも想定し、駐車場分をちょっと削って、建物の面積を増やすという検討もありなのではないかと思いました。いかがでしょうか。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 10台分ではちょっと足りないというご意見があったので、今回、18台分とさせていただきました。これをもう少し減らしてということであれば、建物の面積を広げられる余地はあるかと思います。

多原委員 駐車場の話が出ましたが、今、共同利用館で実際にやっているとき、アイヌ語教室、子ども学習会、役員会、踊りのときなど、10台以上の車が来ます。それに相談員の車も常時置くでしょうから、駐車場は必要だと思うのです。

初めのほうに意見が出されましたが、境界線のところが3.6メートルあるのです。これを若干広げること、それから、右手のほうにエントランスです。左のエントランスより広いですが、これほどは必要ないのではないかと思います。ここで広げる工夫ができないかなと思います。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 右側の3.6メートルの部分は1メートルくらいを、また、プール側のほうも人が歩いて通って荷物を運ばなければならなくなるかもしれないですけれども、1.2メートルくらいに圧縮すること、そして、図面上の上側で言うと、歩道との緩衝があるので、ぴったりというわけにはいかないですが、2メートルでやってしまうということはあるかと思います。

また、通常の駐車場としてはここまで用意せず、何かの儀式などで大人数が集まる時は、あまりよろしくないかもしれないですけれども、現在の共同利用館のように、どんどん詰めて、奥から駐車していただくということであれば、右側の8台分のスペースはもしかしたら建物のスペースにできる余地があるかもしれません。そういうような配置が皆さ



んにとっていいのか、車で来る方が多くなったとき、それでも容認できるのかどうかにかかってくるのですが、その点はいかがでしょうか。

本田部会長 先ほどのお話だと、通常で10台以上のスペースは必要とされるということだったので、10台分では駄目ということかなと思います。いかがですか。

藤岡委員 こんなに狭いなら、駐車場の確保どころではないのではないかなと思うのです。スペースをもっと広くして、充実した施設にするということですね。近隣に駐車場がありますよね。プールのところは借りていいのですかね。あまりよくないのだろうけれども、公園のところもありますよね。

事務局（松下企画係長） 何か大規模なイベントがあるときに、お願いして使わせていただくということは可能性としてはあるかなと思うのですが、今の段階でそれに頼って施設をプランニングして、駐車スペースを減らしたところで使えないというのが一番まずいので、ある程度は確保しておいたほうがいいのかなと考えております。

また、先ほどの敷地境界線からどのくらいに建物を建てられるかについてです。

建てるときには足場を組まなければいけないですし、建ててからのメンテナンスがありますので、ぎりぎりぴったりまではできないということで、1メートルでもちょっと狭いかなという感じかなと思います。

藤岡委員 でも、3メートルは要らないと思います。2メートル60センチでもいいので、広げていただければ広くなるかなと思います。

また、何で公共交通機関が近い場所に施設を建てたかで、公共交通機関を使うという方向もありなのかなと思います。

それから、役員会となれば、奥から詰めて、18台を止められるようにみんなで協力するということもできるのかなと思いました。今でも縦列どころか、テトリスみたいな状態で止めていますよね。それでみんなが止めているのです。

それに、せっかく公共交通機関の近くにできるのだから、生活相談員でレンタルしている車があって、それは止まっているかもしれませんが。あとは公共交通機関で通勤するのが当然だと思います。

私は2階建てを提案します。そうでなければ駐車場10台分でもいいのかなと思います。そうしてここを広げ、右も2.6メートル広げて、調理室も1メートルぐらい、ここは4メートルあるので、3メートルぐらい広げると結構大きくなるのではないのでしょうか。

また、右側のエントランスです。ここは会議室くらいの広さがあるので、ここも縮めればいいと思います。

歩道ぎりぎりといっても、会議室(1)と会議室(2)は歩道ぎりぎりに施設があってもいいのではないですか。1メートルちょっと延ばしてもらおうということです。この通路がちょっとよく分からないのです。ここに通路はなくてもいいような気がするのです。展示・図書スペース、会議室(1)、会議室(2)の上のタイルみたいな部分です。ここはぎりぎりに施設を建ててもいいのかなと思いました。

多原委員 札幌は雪が非常に多く、例年、何メートルもの雪が降りますので、雪対策です。除雪や排雪についてはどのようにになりますか。駐車場が使えるのかどうかもありますが、いかがですか。

事務局（松下企画係長） 現時点では、除雪をどうするか、敷地内で雪をどこに盛るかといったことまでは検討しておりません。

多原委員 建物のスペースを広くしたいというのは当然ですが、一度建ててしまったら駐車スペースは二度とつくれませんよね。雪のことなど、いろいろと考えると、また、午前中から使う、途中で大雪が降るとなると、全部使えなくなるということも考えられますので、このスペースが必要だと思います。

今、周りの空いている境界線のところはどこまで広げられるか、工夫していただきたいと思います。

後藤委員 ちょっとお聞きしたいのですけれども、図面の左側の調理室の左側の前室を出て、一番端はどういう場所になりますか。

事務局（松下企画係長） ここは水が流せるようにするところです。

本田部会長 調理台ではないのですか。

事務局（松下企画係長） 現在のイメージは地面に水を流したとき、流れるようにというイメージですが、スペースがあればいろいろな設備をつけることも可能かと思います。

後藤委員 外で大きいものをさばくとき、水をここに流すというイメージなのですね。

また、先ほど囲炉裏の間が狭いという話が出ていたのですが、この幅だとすれば、結構ぎちぎちになるかなと思いました。

囲炉裏の間の右側の通用口が本当に必要かどうかを確認したほうがいいという話も出ていましたよね。私も儀式に参加したことがあるわけではないので、不適切かもしれないですけれども、調理室側に入り口を移動させ、囲炉裏の間の幅を上集会室の幅と同じくしてしまったら、それで集会室と囲炉裏の間を移動間仕切りでつなげられるようにしたら狭い感じが少しましになるかなと思ったのです。いかがでしょうか。

調理室を通過して外に出ることになるのはちょっとどうかと思ったのです。そうしたら、儀式のときだけ使う入り口かもしれませんけれども、又サの間を通過していかなければいけないということはなくなるかなと思いました。

本田部会長 二風谷の儀式などを見ていると、儀式をやる方々のほか、裏方で女性がお料理をつくっているので、できるだけ遮断しないと、お母さんたちであれを持ってきて、これを持ってきてという話ができなくなるのです。儀式のほうに筒抜けにするわけにはいかないので、ここには壁が必要かなと思います。むしろ、ちょっと近いかなと心配していたくらいです。ですから、囲炉裏の間はちゃんと遮断しないとイケないかなと思います。

それから、この敷地はどうしても広げられないのですか。

今まで、温水プールはあれだけの駐車場で、あまりにも狭いとは思っていたのですけれども、今までの駐車場はあれだけのスペースだったので、もうちょっと温水プールの駐車

場を狭めていただいて、こちらに分けていただくということは札幌市としてはどうしても難しいのでしょうか。

事務局（松下企画係長） 今までそのような検討はしておりませんので、できるともできないともお答えできません。

ただ、今計画している敷地境界に温水プールの配管が通っているということが一つございます。その上には構造物をどうしてもつukれないということはございますし、基本的にはこの区画での検討をお願いできればと思っております。

本田部会長 そうおっしゃってましたね。

事務局（松下企画係長） 図面の下側に温水プールがあって、温水プールの配水が検討している敷地の下を道路側に流れていきます。その配水管が検討している共同利用館の後継施設の候補地と温水プールの駐車場予定地の間を通っているのです。

本田部会長 でも、この隣に駐車場ができるわけですよ。そして、こちらの駐車場と向こうの駐車場の仕切りのところに配水管があるということですよ。

こちらまで広げて、1から10までの列ともう一つの列の間に配管が通れば車のお尻とお尻の間は車が通らないのになと思ったのですけれども、それは難しいことです。

事務局（松下企画係長） 配置としてはあり得るとは思います。ただ、配管を修理しなければいけない、手を入れなければならないとなったとき、上の空間が使えなくなります。そうすると、その期間、駐車場は全く使えなくなってしまうというようなことも出てくるかと思えます。

いずれにしても、これまで駐車場の区域を変更するという交渉はしてきておりませんので、それが可能かどうかのお答えはしづらいところです。

本田部会長 本当に狭いですよね。

藤岡委員 狭いと思います。

また、調理室のスペースです。排水がここでなければならぬのかどうかです。そして、前室の前のスペースに排水があつては駄目なのでしょうか。そうすると、9台目の駐車スペースがここにできますよね。それで10台目もつくれば、20台いけますよね。

8台目の横に9台目があつて、排水のスペースをつくるということです。10台目は運搬用やその日の担当の人用の駐車スペースにするということです。

駐車場を増やしてもしようがないのですけれども、この無駄なスペースをつくるなら、車を止められるスペースにしてもらったほうがいいのかと思いました。

本田部会長 私はここはてっきり屋根があるのだと勝手に思っていました。屋根があると、作業をやってから中に入ることができますよね。外が作業できる場所があつたら便利ですよ。

藤岡委員 屋根があるならいいですね。

本田部会長 それだと、雪が降ろうが何があるうが、作業スペースとして使えるかなと思ったのです。そして、その横に車を止めていられるわけですよ。あるいは、どうしてももの

ときにはここに車を入れれば、屋根があるので、濡れなくていいかなと思います。

ひょっとしたら屋根の構想はなかったのかもしれないですけども、あったらいいなと思います。

事務局（松下企画係長） この平面プランを検討したときには、今おっしゃっていただいたところには屋根をつくる想定で、屋外で雨にぬれずに作業ができる場所をイメージしておりました。

多原委員 生活相談室ですが、これは12.4平米ということですか。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 幅3メートル、横4メートルで、今の共同利用館の相談室くらいです。

多原委員 分かりました。

後藤委員 今、相談室の広さの話がされていたのですけれども、シューズボックスというのは平面でこんなに広さが必要なのかが気になりました。もしできるのなら、エントランスの壁際に学校の靴箱みたいな感じで立ててしまったら、両サイドにあるシューズボックスは、ほかの事務室や相談室の面積に足せるのではないかと思います。

どんな感じのシューズボックススペースを想定されていますか。

事務局（松下企画係長） 我々の中でも玄関周りのスペースは取り過ぎだねという意見が出ておまして、今いただいたご意見のとおり、シューズボックスについては置き方を工夫すれば玄関回りはもう少し狭くていいのかなと思っています。特に通用口のほうは、通常時はそこまで利用がない玄関になるかと思しますので、こちらのスペースも縮小できるのではないかと思います。

本田部会長 ほかにありますか。

多原委員 何度もすみませんが、広さのことです。

右手のほうの相談室、物品庫、収納室は必要だと思うので、何度も要望を申し上げますが、敷地ぎりぎりまで広げてもらえませんか。相談室も、1人だけが対面して相談できればと思っているのですが、家族での相談もあるため、あまり狭いと相談に行く人が暗いイメージで捉えては困りますので、工夫していただきたいなと思いました。

物品庫も収納室も相談室ももう少し広げるといいかと思います。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 今、様々なご意見をいただきました。

多原委員からは相談室、物品庫、収納室を広げてほしいということ、また、囲炉裏の間も狭いということでした。

今後、通路の幅を狭くしたり、場合によっては駐車台数をもう少し減らすというような検討をしていこうと思います。囲炉裏の間は具体的な面積や幅についてのご意見が出されましたけれども、集会室は、現在、縦方向で約11メートル、横方向で約10メートルの広さになっています。このぐらいでオーケーであれば結構です。横が約8メートル、縦が約10メートルという感じかと思っています。これで98.5平米ですので、10メートル掛ける9メートルちょっとということですよ。

多原委員 あと、ここの使い方です。下はフローリングになっていて、こうした会議用テーブルがあるのでしょうか。こういったテーブルが何台くらい入る感じでしょうか。今の平米数で3人がけのテーブルがどれくらい置けるのかということです。

事務局（松下企画係長） そこまで具体的な検討はまだしてありません。

多原委員 それでどのくらいの方が入られるのか、また、テーブルが結構な台数あって、それを片づける際は横に置いておくのか、別の部屋に置くスペースはなさそうなので、そこが気になりました。

本田部会長 ほぼ正方形なのでですね。

事務局（大屋アイヌ施策課長） はい。

このテーブルは1メートル80センチくらいでして、横に並べると4列くらいは置けるかなと思います。ただ、テーブルの収納場所という問題は当然出てきますね。

藤岡委員 集会室と囲炉裏の間に通路がなければならぬですか。

ここは通路で、間仕切りがあって、イベント時にはつなげるという感じですか。

今、いっぱい線を入れてしまって分からなくなったのですが、通路がいっぱいあり過ぎると最初に見たときに思ったのです。うまく配置できませんか。エントランスが二つあるからですか。前室があって、入り口が4か所にあるからなのかもしれないですね。でも、集会室と囲炉裏の間は一緒にしてもいいのかなと思いました。そして、幅は10メートルくらいあるといいと思います。囲炉裏が合って、その前に男性が座って、下手をすると女性は2列になります。1列だとしても前に歩く通路が必要でして、1.5メートルは必要です。ですから、囲炉裏が1メートル半だとして、通路があってとなりますと、やっぱり8メートルくらいは必要ですので、集会室と同じくらいの幅があると広々となるかなと思います。あまりにも狭い儀式的の場所はほかの地域でも見たことがないです。北大のイチャルパの施設くらいです。茶室みたくせず、もうちょっと広くしてもらったほうがいいかなと思いました。

そして、この通路を変更していただきたいなと思います。

事務局（松下企画係長） プランを検討する上で当初の段階から話があったのは、一般の利用者とアイヌの方のゾーニングをどうするかということです。今の案だと、左側に一般の方の入り口があって、右側の入り口は一般の方との共用では使いづらいと考える方が入ってくる玄関という考え方を取ってしまして、両端にそういう機能を設けると、中のほうには廊下的なものがどうして必要になります。

ただ、藤岡委員におっしゃっていただいた集会室と囲炉裏の間の間の通路についてはつなげて使えるところですので、集会室と囲炉裏の間をつなげて広くするという意味では、現在のところ、そこまで大きな支障になっていないかなと考えております。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 相談室側からトイレに行けなくなるのです。

藤岡委員 上のエントランスのほうに通路があればいいのではないですか。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 会議室側の通路を使い、ぐるっと回ってトイレに行く

ようになるかもしれないです。

多原委員 右手のエントランスを上にもうちょっと広げると、会議室との間に廊下ができるのですよね。お手洗いにいくのにそれほど広い通路が要るわけではないですから、よろしいのではないのでしょうか。今言われたように、集会室と囲炉裏の間をつなげるとゆったりと使えるようになるかなと思いますね。

今いろいろな意見や要望を受けて検討していただければ、それぞれの部屋は広いスペースを取れるのではないかと思います。そして、無駄なところを省いていただくということを検討していただければと思います。

藤岡委員 つなげることで相談室のところは行き止まり状態になるわけですよね。

多原委員 相談室はこちらの入口から……

藤岡委員 集会室と囲炉裏の間をくっつけて、その通路がなくなるということは、エントランスから入ったら、相談室に真っすぐ行けて、物品庫、収納という感じになりますよね。

一般の人は左から入って、こちらから来ない状態になるのかなと思います。

とにかく、通路があり過ぎます。トイレの周りにも通路がありますよね。うまく当てはめたらいいのかなと思います。トイレがど真ん中にあるのですよね。

本田部会長 それと、展示・図書スペースがたくさんあったほうがいいとは思いますが、団らんスペースと区切らなくてもいいのではないのでしょうか。ふだんは空いているのかもしれないですが、そうすると、展示・図書スペースと団らんスペースはかなりの広さがあって、会議室二つより大きいのですよね。

スペースを取りたい気持ちはすごく分かるのですが、ここを一体化させることでもうちょっと狭くできないでしょうか。使われる方としてここは広いほうがいいですか。

多原委員 当初は、多分、アイヌの方たちが安心してそこで語れる場所ということだったのです。でも、ここを一体化させてしまうと。例えば、今日は、特別な会合ではなくてもみんなが集まって、調理室で何かをつくってここで食べたりお話をしたりしようと思うとき、展示・図書スペースと一緒にというのはどうでしょうか。そういうことがありますし、道路側に展示・図書スペースを広げてはどうかと思いました。

本田部会長 思いつきで申し訳ないのですが、そういう感じでアイヌの方々が団らんするというのだったら、通用入り口のほうの会議室のスペースです。相談室とも近いのですので、入れ替えて、そちらのほうということはないですか。そして、展示・図書スペースと団らんスペースを会議室にするということですが、微妙ですか。でも、そうすると、トイレに行くときの問題がありますね。

後藤委員 この部会の割と最初のほうで貸し館利用の話が出たと思うのですが、その場合、想定されているのは会議室(1)、会議室(2)ですか。メールでこれをいただいたとき、私が気になったのは、会議室は、おっしゃったように、敷地の右側の相談室寄りであることで、そちら側に一般の方がふだんから入ることになっていいのかなということで

す。廊下がつながっていないから大丈夫なのかもしれませんがね。

そうだとすると、今、本田部会長がおっしゃったように、展示・図書スペースと団らんスペース、会議室（１）と会議室（２）の位置を逆にするのもありなのかなとお聞きして思いました。

本田部会長 いかがでしょうか。

藤岡委員 一度、つくっていただいてということでは駄目でしょうか。今聞いたことを図面に反映していただいたものを見せていただきたいです。

事務局（松下企画係長） どちらかという、今おっしゃっていただいたように、入り口に会議室が近いほうが使いやすいのではないかというようなご意見をまとめ、プロの設計者に検討していただくのとよりいい案が出てくるかなと思います。ですから、今日いただいた案からブラッシュアップしたいと思います。

何と何を入れ替えるといった細々した修正もあるとは思うのですが、今いただいたご意見を踏まえ、がらっと変える案をつくることもできるかもしれません。そういったことも含め、いただいたご意見から検討したいと思います。

藤岡委員 あと一つ、いいですか。

又サ場はどんな感じが正解なのか、もう一回聞いてもらってもいいでしょうか。

先ほど本田部会長が言われましたが、窓からで済むなら通路は要らないでしょうし、どうしても通路が欲しいという意見があれば、通路を入れたほうがいいですね。

また、正面にあると思うのですが、これだとその横を人が常時通る状態になってしまっていて、駄目だと思うのです。又サの前は４メートルくらいの幅があったほうがいいと思います。

又サの前を区切られるよう、塀ではないですが、必要かなと思います。ここを通り過ぎるような状態にならないようなものを男性に意見を聞いていただいてもよいでしょうか。

事務局（大屋アイヌ施策課長） こちらから済みません。

いつも駐車場についての発言になりますが、今、駐車場は１８台分です。もうちょっと緻密に考えなければならぬのですけれども、どうしても致命的だとなったとき、１４台あれば７番目より下側は使えることとなります。

本田部会長 ７台より下ですか。

事務局（大屋アイヌ施策課長） はい。左側の８から１０、右側の８の駐車スペースを建物の面積に加えることができます。

必要台数について誰も正解は持っていないと思うのです。ただ、１０台では足りないけれども、１４台分ぐらいにして、多くの人が集まらないときは奥から詰めていけば２０台は止められると思うのです。そういう使い方でもやむなしということなのかです。今、この場ではそれでも建物の面積を優先しようということになっていますが、それについてはいかがでしょうか。

藤岡委員 道路に面して全部、駐車場とするのは駄目なのですか。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 通学路なので、車が入り出す場所はなるべく限定させたいということで車が通る気をつけなければいけない場所としているのです。

藤岡委員 では、駄目ということですね。

事務局（大屋アイヌ施策課長） 小学生に危険が及ぶということで申し訳ありません。

多原委員 15台でもやむなしということも出てくるかもしれませんが、やっぱり雪のことです。冬のことも考えると、空きスペースは重要かと思います。

また、敷地ぎりぎりまで、そして、又サ場はここでストップさせるという設計を考えていただけるといいかと思います。

後藤委員 今のお話を聞いて思ったことですが、又サのほうに人が行かないようにすると、調理室に屋根のある作業スペースが必要という意見を合わせたら、今、又サの左側のスペースが割と広い通路になっていますよね。調理室と敷地の境界線の間ですが、ここに屋根のある作業スペースを移動させ、又サのほうには人が行かないよう、壁みたいなものを置いたらどうなるのかなと思ったのです。

そうすると、屋根のある作業スペースのところの分が調理室なり別の部屋として使え、かつ、又サのほうに人が行かなくなるかなと思いました。

藤岡委員 雪が降ったら、又サ場が大変なことになりますよね。屋根をつける又サ場というのはあるのですか。

事務局（松下企画係長） 又サ場について補足しますが、荒木繁さんとお話ししたときは、又サ場は、常設ではなく、儀式的たびに撤去したほうがいい、ずっと置いておくともみずばらしくなるので、儀式的たびに動かしたほうがいいのかというご意見もございました。

本田部会長 イナウを撤去して、儀式的たびにということですね。それは分かるのですが、又サ場はちゃんとつくっておかないと、毎回つくるのは大変ですよ。

藤岡委員 アシリチェップノミのときは、一回つくって、一回撤収しますが、ああいうイメージだと思うのです。ですから、チセのイメージなのです。これはいろいろな人に聞いてください。

本田部会長 そうですね。

では、例えば、先ほどおっしゃった14台にしたらこんな感じになり、このまま18台分だと、大きさはこんな感じで、中を変えるということになると思うのですが、二つのプランを検討していただくことはできませんか。

事務局（松下企画係長） 進め方も含め、検討させてください。

事務局（大屋アイヌ施策課長） なるべく多い台数を確保できるのであればそれでいいと思うのですが、今出されたご意見のとおりプランにならないときには二つ目の駐車台数を若干減らしたプランに移行しなければならないかなと思います。ただ、まずは現状の18台の案でデッドスペースをもう少し埋め、どうなるかを検討し、それでも駄目



であれば減らすということでご提示をできればと思います。

本田部会長 あと、調理室から物を出し入れするのですが、集会室に行くところの出入口の場所についてです。今は、壁になっていて、ちょっと回らないと物を持っていけないような気がするのです。本当に出入りが多いので、広いところに出入口をつくっていただいたほうがいいかなと思います。

限りなくご意見が出そうですけれども、今回はこれくらいでいいでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

本田部会長 ありがとうございます。

それでは、今日の皆さんのご意見を踏まえ、引き続き具体的にご検討をいただければと思います。よろしく願いいたします。

今日予定していた議事は以上ですが、ほかにご質問やご意見などはありませんか。

多原委員 次回のアイヌ施策推進委員会でこの報告がありますよね。そのとき、平面図についても説明されるのですか。

事務局(大屋アイヌ施策課長) 1週間後の25日にアイヌ施策推進委員会が予定されておりますが、今、たくさんの修正点をいただきましたので、恐らく、平面図をお示するという事は間に合わないと思います。これまでいただいた意見を紹介するという事で中間報告とさせていただければと思っています。

多原委員 それと、今後のスケジュールはありますか。

事務局(大屋アイヌ施策課長) まずは、この平面プラン案をなるべく早くお示したいと思っています。それで納得していただけるものになるのかどうかはありますが、まずはその作業に移らせていただき、駐車台数もなるべく多い平面プラン案をお示しさせていただきたいと思います。

藤岡委員 2階建ての話もお願いします。そうしたら、駐車台数は18台分でいいです。

事務局(大屋アイヌ施策課長) 当然、建物の面積を広く取れるほうがいいと思うのですが、その場合、費用がどのくらいかかってくるかがあり、実現性がネックになってきます。その落としどころを見極めた上で2階建てとするかも含め、検討させていただければと思います。

まずは、今日いただいた意見を踏まえ、もう一度、平面プラン案をつくらせてください。よろしく願いします。

本田部会長 ありがとうございます。

それでは、最後に事務局からお願いします。

事務局(大屋アイヌ施策課長) たくさんの意見を本当にありがとうございました。本日の意見を踏まえまして、3月25日のアイヌ施策推進委員会では本田部会長から、プラン案は間に合わないかもしれませんが、検討の経過のご報告をいただければと考えております。

なお、そこで終わりではありません。引き続き、皆様方には来年度も委員としてご参画

をいただき、さらなる検討を進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い  
いたします。

次回の部会の具体的な日程はまだお示しできないので、改めてご相談をさせていただき  
たいと思っておりますけれども、来年度中には共同利用館後継施設の基本計画をつくり、  
どういう設計、施工に移っていくか、確実に固めていくというようなスケジュールで動い  
ていきたいと思っておりますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

また、いつも申し上げていることですが、議事録については、後日、皆様にご確  
認をいただいた上で札幌市のホームページに掲載させていただきますので、ご承知おきを  
いただければと思います。

### 3. 閉 会

本田部会長 長時間になりましたけれども、これで本日の部会を終了いたします。  
どうもありがとうございました。

以 上